



TKK 共通シラバス

| | | | | | |
|---------|-------------|---------|----|---------|-------|
| 1. 科目名 | 地域防災工学 | | | 3. 担当大学 | 工学院大学 |
| 2. 教員名 | 村上 正浩、三好 勝則 | | | | |
| 4. 対象学年 | 3年 | 5. 開講時期 | 後期 | 6. 単位数 | 2単位 |

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

本講義では、地震災害に限らず、風水害、火山災害、高潮災害、津波災害、都市大火など過去の災害と教訓、都市・地域レベルの防災・防火対策と計画理論、災害と情報、国・自治体の災害危機管理、さらに環境犯罪学の知見に基づいた防犯環境設計を学び、都市・地域の安全・安心を実現していくための知識を習得する。

8. テキスト、参考書、指定図書

テキスト

講義中に配布する資料

第1回目レポート課題図書

福井晴敏『平成関東大震災 いつか来るとは知っていたが今日来るとは思わなかった』
講談社 720円

参考書

梶秀樹・塚越功『都市防災学 地震対策の理論と実践』学芸出版社

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前に受講してほしい講義等】

社会貢献学入門、建築防災、減災学入門

10. 提出課題など

レポート課題（1）

平成関東大震災（福井晴敏、講談社）を読んで、自分の現在の生活を見直し、これから何をすべきか、どのような対策をとるべきか、を各自で考える。

レポート課題（2）

各自が住んでいるまちを防災の視点から再点検し、国・自治体が提供している様々なハザード情報や防災マップなども活用しつつ、オリジナルの地域点検マップを作成する。

11. 評価基準

上記2つのレポート課題を総合的に評価し、60点以上の者に単位を認める。

12. 学生へのメッセージ、受講生への要望

13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

オフィスアワー 月曜日～金曜日 18:00～19:00 ただし事前に予定を確認のこと。

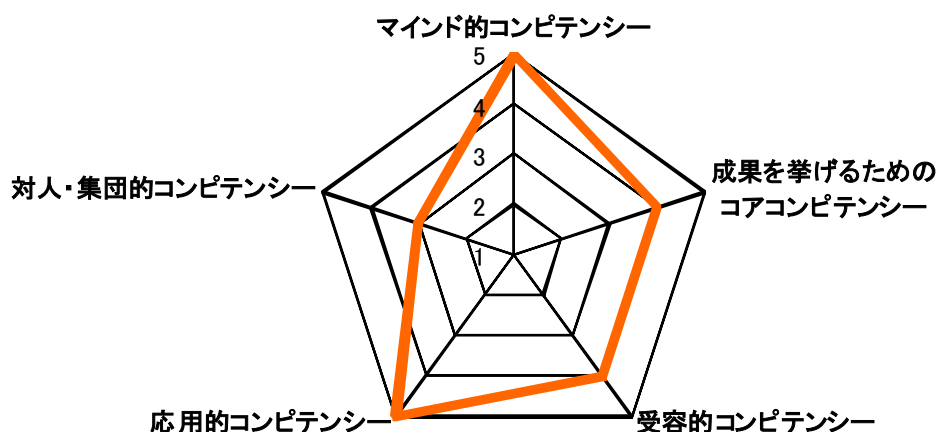
E-mail : murakami@cc.kogakuin.ac.jp

【授業計画】

| 講義番号 | 主題 | 内容 |
|------|---------|---------------------------|
| 第1回 | ガイダンス | ガイダンス（授業計画、レポート課題の説明など） |
| 第2回 | 自然災害1 | わが国の災害環境（その1） |
| 第3回 | 自然災害2 | わが国の災害環境（その2） |
| 第4回 | 自然災害3 | わが国の災害環境（その3） |
| 第5回 | 自然災害4 | わが国の災害環境（その4） |
| 第6回 | 自然災害5 | 社会環境や都市構造の変化による新たな課題（その1） |
| 第7回 | 自然災害6 | 社会環境や都市構造の変化による新たな課題（その2） |
| 第8回 | 地震防災対策1 | 震災に強い都市づくり |
| 第9回 | 地震防災対策2 | 防災まちづくり（その1） |
| 第10回 | 地震防災対策3 | 防災まちづくり（その2） |
| 第11回 | 防犯対策 | デザインは犯罪を防ぐー防犯環境設計ー |
| 第12回 | 災害危機管理1 | 大規模地震の現場（その1） |
| 第13回 | 災害危機管理2 | 大規模地震の現場（その2） |
| 第14回 | 災害危機管理3 | 大規模地震の現場（その3） |
| 第15回 | 学習成果の確認 | レポート課題の提出 |

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。防災意識や情報活用力、課題形成力の向上に力を入れる。